

# 名張市旧細川邸

## 「やなせ宿」

『やなせ宿(やなせしゆく)』名称の由来  
 古来より名張川は「あゆ」の名所でこの付近には「あゆ」を挿るための築(やな)がたくさん設けられ、「こから」の地名も「築瀬(やなせ)」と称されていました。明治以降に「名張」という地名に変わりましたが、この地の川や水の風土に由来した、名張の旧称を生かすとともに、江戸時代には「初瀬街道」の宿場として栄え、「名張八宿」と呼ばれた賑わいを再生し、人々が集う場所となることを目指して、施設の愛称を「やなせ宿」としました。

### 【名張市旧細川邸 「やなせ宿」】

□開館時間 午前9時～午後5時

※ただし、事前に施設利用の申込がある場合、午後10時まで利用できます。

□休館日 毎週月曜日および年末年始

※月曜日が祝日の場合、火曜日が休館日となります。

□所在地 〒518-0727

三重県名張市新町136番地

□TEL 0595-62-7760

□FAX 0595-62-7761

□WEB <http://www.yanase-shuku.com>

□E-mail [info@yanase-shuku.com](mailto:info@yanase-shuku.com)



季節を彩る数々のおもてなしを  
 名張の原風景と人情あふれる  
 魅力ある場所で—



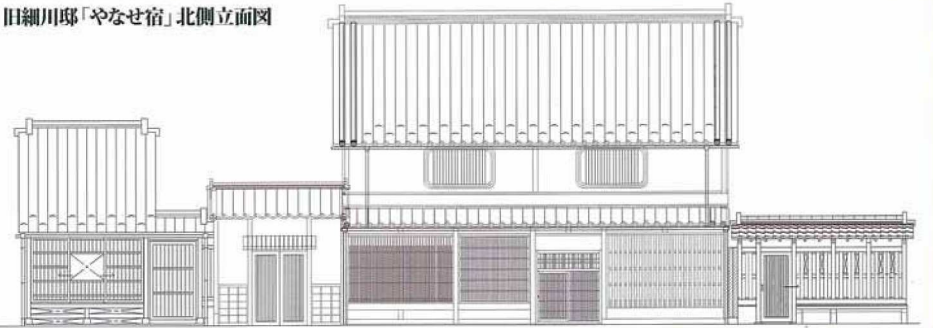
### 【交通・アクセス】

○電車でお越しの方は  
 近鉄大阪線名張駅から徒歩14分。

○お車でお越しの方は  
 国道25号線(名阪国道)針インターから  
 国道369号線、県道28号線、国道165号線、  
 県道567号線を経て約30分。

※施設の駐車スペースに限りがありますので、  
 公共交通機関をご利用いただくか、ジャスコ  
 名張店の駐車場をご利用ください。

旧細川邸「やなせ宿」北側立面図



## ■施設概要

旧細川邸は、江戸時代末から明治初年に、薬商細川家(奈良県宇陀市大宇陀区)の支店として建てられました(大宇陀の細川家は、現在、歴史文化館「薬の館」(宇陀市指定文化財)として公開されています。)

細川家は、「藤沢樟脳(しょうのう)」の製造販売を始めた「藤沢商店」(のちの藤沢薬品・2005年に山之内製薬と合併してアステラス製薬)の創始者・藤沢友吉の母方の実家です。

大宇陀の細川家二代目・治助は、この名張の細川家を別邸として使用し、治助の二女の満津(まつ)は、本町萬屋(よろずや)福守佐兵衛に嫁入りました。その長男が友吉です。友吉は、大阪で丁稚奉公するまでの九年間を名張で過ごし、祖父の細川家にもたびたび訪れていたようです。

旧細川邸は、虫籠窓(むしこまど)や袖卯達(そでうだつ)、つし二階を備える典型的な町屋であり、大和長谷寺と伊勢神宮を結ぶ初瀬街道沿いに今も風情を残しております。

この「やなせ宿」は、歴史的町並みの保存整備に関する拠点施設とするため、市の目指す「名張地区既成市街地再生計画・名張まちなか再生プラン」のプロジェクト概要に沿って改修工事を行ったものです。施設の母屋部分は当時の面影をそのまま残し、名張らしい風情をかたちづくっています。

【改修前】細川邸北側入口



【改修後】細川邸北側入口



① 事務室



② 土間



③ 店の間



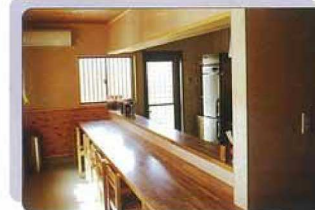
④ 中の間



⑤ 奥の間



⑥ 物産棟 (厨房・客席)



⑦ 渡り廊下



⑧ 中蔵 (展示室)



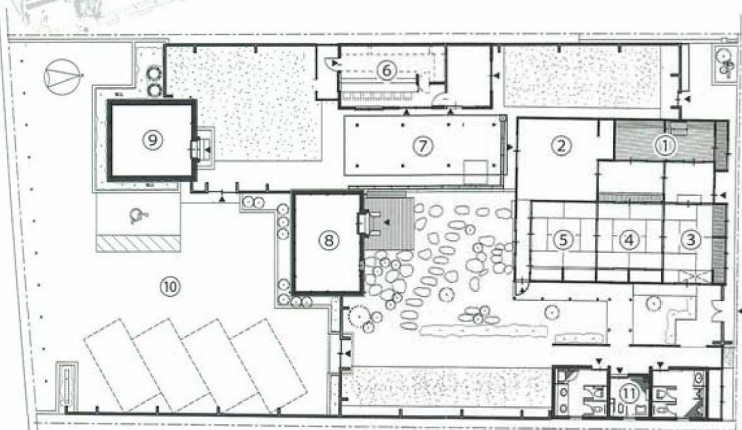
⑨ 川蔵



⑩ 駐車場



⑪ トイレ棟 (多機能トイレ)



【施設間取図】

- ① 事務室
- ② 土間
- ③ 店の間
- ④ 中の間
- ⑤ 奥の間
- ⑥ 物産棟 (厨房・客席)
- ⑦ 渡り廊下
- ⑧ 中蔵 (展示室)
- ⑨ 川蔵
- ⑩ 駐車場
- ⑪ トイレ棟 (男性用・女性用・多機能トイレ)

※上記施設の②、④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑩、⑪、及び施設敷地内の屋外が利用可能です。利用料金については別途料金表をご覧ください。